

『新しい今日を生きる人びと』を出版しました

アルコール依存への福祉のとりくみが本に！！

既に読んでくださった方も少しずつあって、「一気に読んでしまった」「映像が頭にすごく浮かんできた」「地域ネットワークの歴史がよくわかった」「やる気が出てきた」などの感想をいただいているところです。

去る2016年6月18日には出版記念会を持ち、断酒会の方々や医療の先生方、日頃から「いちご」を支えてくださっている人びとにご参集賜り、メンバー・スタッフも共に会し和やかな雰囲気の中、温かいお言葉をたくさん頂戴致しました。同時に、一同、身の引き締まる思いをもって、なんとか歩んできた一里塚までを振り返り、今後へむけての歩みを続けていく所存です。本当にどうもありがとうございました。

その後、序文を寄せてくださいました和気隆三先生から、『この本をどのように生かしていくかを考えていこうか』と言われました。

おかげさまで、少しずつ、ご本人やご家族・自助グループの皆様、医療機関や行政・地域の多くの人々にご購入していただいているところですが、全国どこへでもお届け致しますので、まずは下記までご連絡をくださいますようお願いいたします。

啓発活動の一環として、お声がかかれば、地域の催しに合わせて私達いちごのメンバー・スタッフで伺いますので、そのようなお声かけも歓迎致します。

実践的にも、学術的、政策的にも、依存症をめぐる地域生活支援のあり方についての検討を深めていく必要があると思います。多くのご意見や感想を期待致します。

ここで少し本の紹介をしてみたいと思います。

この本には、リカバリハウスいちごにたどり着いた本人や家族が、どのような社会や家庭生活をどのように生き、依存症に至り、過程からどのように治療につながり自助グループにもつながり、そこからの生活や人生をどのようにして立てなおしてきたのかが綴られています。ひとりひとりの人生は重たいものです。そこに向き合い支援に関わってきた人々が経験してきた大事な新たなアルコール依存症者の援助への視点を書きました。依存への福祉の取り組み、「リカバリハウスいちごができるまで」地域のネットワークの経緯、地域や自助グループや医療機関、行政機関との協働、専門医療・アルコール医療での精神科の役割・内科の疾病と依存症治療についても専門医が非常に分かりやすく説明しています。「人間が人間社会で生きていくための大切な物をすべて失ったと言っても過言でない方々の再生と新生」（作中より引用）に向けて、また心傷つき苦しんできた家族に関わる人々への福祉援助の臨床の知を広げ深めていく本として、ご活用いただければこんなに嬉しいことはありません。

折しもアルコール健康障害対策基本法が成立し、「切れ目のない支援」をどう構築していくのが今大きな課題となっています。社会復帰支援とともに地域での相談と介入を推進していく上でも医療・断酒会・地域・福祉の協働性の追求という視点が参考の一助となることを願います。よかったら、お手にとってみてください。ご購入の際には、下記の連絡先へご一報くださればご対応致します。



リカバリハウスいちご TEL/FAX 06-6769-1517

リカバリハウスいちご長居 TEL/FAX 06-6694-4701

リカバリハウスいちご尼崎 TEL/FAX 06-7173-6642

メンバー体験談

結婚をして、翌年には娘を授かり、順風満帆で、誰もが羨む筈の私は、仕事での人間関係に行き詰まり、何ら躊躇することなく、朝酒を始めた。上司の叱責、同僚の蔑み、今、何度振り返っても一つ一つは、それ自体、全く酒を飲む理由では無いのに、元々小心者で、器の小さい私の心のバケツの水は、既に溢れていた。決して飲む理由では無いが、「飲まな、やってられへん」かった。勿論罪悪感、羞恥心はあった。でもあの一杯の喉ごし、ファアと全心を巡るあの快感。たちまちハマった。平成15年31歳の頃だ。加速度的により多い酒、より強い酒を求め、30代半ばには、ウィスキーのポケット瓶をラッパ飲みする様になった。愛する家族への想いなんか、もう全く無かった。仕事より、家族より、私は酒をとった。どうでも良かった。むしろ邪魔だった。グーで殴らなかつたけど、会話をしなかつた。無視…これほど酷い精神的暴力は無い。平成22年とうとう倒れ、運良く専門クリニックと断酒会を知る。毎日通った。妻娘もついて来てくれた。知られるとアル中のレッテルを貼られる。社会的に抹殺される。止めないと！でも止められない、孤独で秘密の酒は止まった。たちまち心身共に健康になった。嬉しかった。でも2カ月もしない内に「まだ38歳。若い。止めている先輩の止め始め、皆50代だ」と、何の気も無く一杯の酒に手をつけた。たちまち、元に戻った。止めている前提、飲んではいけな前提での秘密の酒ほど辛いものは無かった。「主人がお酒止めてたんです!!」て妻は嬉しそうに、当時の家族会の人に語っていたそう。娘もパパとママが仲良くして、本当に安心していた。なのに私は裏切った…。やがてもっともっと酷くなり、万引を繰り返し、警察に捕まった時、柄受の妻の顔はわすれない。最後まで「疑う」ことを知らなかつた妻は、この裏切りに大粒の涙を流した。本当にいい妻、娘だった。ギリギリまで信じて、ついて来てくれた。私がまた飲んだくれた5年前、彼女は依存症の本を読みあさった。断酒会も行った。病院の家族教室にも行った。アラノンにも行った。万引、飲酒運転、暴言、失禁…最後私は決して言うてはいけな言葉を妻、娘に放った。「死んでしまえ」と。共依存、娘のトラウマ「専業主婦で何の手に職もない、能力のない私たちですが、二人で生きていくのは覚悟の上です。貴方と一緒にいる意味がわかりません。言うてはいけなことを言った時点で夫婦関係を保つことは、もう無理です」と言うて別れていきました。今、酔いから醒めてしみじみ思う。離婚は妻娘の人生を守ることに、そして私を立ち直らせる為に、あえてそうしたこと。いつか、結婚した時の私に戻ることを信じて。このことに気付いた私は酒を飲まない人生を選んだ。「飲まなやってられん」人生から「飲まんでも幸せ」な人生へ。それがひょっとしたら、断酒会で言うところの「断酒新生」なのかもしれない。
(殿内賢)



海レク



いちごでは毎月レクリエーションのプログラムとして、メンバー・スタッフの中から選考されたレク委員でレクリエーションの企画を行っています。7月は毎年恒例の海レクを企画し、和歌山県は田浦海岸でバーベキューや釣り、海水浴などを楽しみました。

(メンバー感想)

今年初めて参加したのですが、80人もの方が参加していたのでびっくりしました。海辺では日差しも強すぎず、絶好のバーベキュー・海水浴日和でした。手際よく準備が整ってお肉も焼きそばもめいっぱいあって大満足です。普段接することのない人たちとも仲良く過ごすことができ、新鮮な時間を過ごせました。今年はタイミングがわからず釣りに参加できなかったのですが、来年には釣りに参加してみたいです。スイカも割ります。



新生会病院

この度いつもお世話になっている新生会病院様より、看護補助業務のお話を頂き、2016年6月より、メンバーの方4名が業務に就いています。このような仕事の機会をいただきまして、本当に感謝しています。

その内1名の方から感想を頂きました。
(メンバーの声) 毎日の部屋の移動のお手伝い、火曜日のシーツ交換と月曜・木曜日のお風呂の案内が主な仕事になっています。その他備品の補充、患者さんの車いす移動のお手伝いなどこなしているうちにあっという間に時間が経ちます。病棟での仕事の後は、厨房からお昼ご飯を食堂まで運んでいます。昼食後にはそれを回収して清掃して一日の仕事が終わりです。

作業をしている中で、自分自身が入院していた当時の事を思い出すことが多々あり、自分自身の断酒にもとても役に立っています。特に入院間もない方と接すると、自分自身でも記憶があいまいになっていた部分が思い起こされたりします。始めたばかりの時は、戸惑いもありましたが、元々働いていた方と一緒に動けばよかったので、慣れるのにそんなに時間はかかりませんでした。それに4人同時に作業に入ったので、相談し合いながらできることにずいぶん助けられています。今では一人で仕事を任される時もあります。

自分にとって新生会病院での作業は、第一にお世話になっている病院への恩返しで、第二に改めて社会との接点を持ち直す機会になっています。その他仕事で収入を得る喜びであったり、人と人との触れ合いの中で沢山の気づきを頂いています。素面でこれだけできるんだという事を安全に経験させて頂けることをありがたく思っています。



< カフェレスト毎 近況報告 >

仲間とともに仕事を経験することを通じて、人間関係のきづなが深まっています。仲良く、時には衝突もしながら、お互いに分かり合えるように、話し合おうとしています。リカバリハウスいちご阿倍野では通常の弁当注文に加え、自助グループや医療機関等の催事の際など、大口での特別注文も承っております。

ここ最近では、2016年4月～8月までの特別注文の注文先になります。

おかげさまで沢山の注文を受けたまわりました。感謝です。

- 2016/4/5 ひがし布施辻本クリニック デイケア
- 2016/4/6 あべのひまわり作業所
- 2016/5/1 茨木市断酒会
- 2016/5/22 東大阪断酒会
- 2016/5/28 池田市断酒会
- 2016/6/3 ひがし布施辻本クリニック デイケア
- 2016/6/5 小谷クリニック
- 2016/6/26 大阪市断酒連合会
- 2016/7/3 兵庫アメシスト
- 2016/7/24 すみれ会
- 2016/8/1 障大連
- 2016/8/14 堺市断酒連合会 (敬称略)

室内共同作業

合併症等があり、所外での仕事が難しい人もいます。また、皆で協力して、室内共同作業を行っています。様々なお仕事を外部企業から頂いております。

下記は現在お世話になっているお取引先です。

株式会社 ASAKURA 岩崎工芸印刷 大阪高齢者大学
有限会社ティー・エス・ピー 山本製作所

(メンバーの声)

大切な仕事で、真剣に取り組んでいます。最初は難しく感じますが、回数を重ねると慣れてきて早く終わりますが、バランスよく丁寧に組み立てます。作業をしているとあっという間に時間が経ちます。反対に作業がないと、手持ち無沙汰になります。みんなと協力して納期に間に合わせるようにしています。今まで納期に遅れたことはありません。唯一の自慢です。

つながりプログラムについて

つながりプログラムとして、ふだんから緊密に連携している自助グループ・医療機関・行政機関等の例会・ミーティング・酒害教室へメンバーはじめ、スタッフも参加させて頂いています。

以下、前回いちご通信を発行した2016年4月以降のつながりの参加先になります。温かくお迎え頂き感謝しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

<断酒会>

大阪市断酒連合会合同例会 大阪市断酒連合会1日研修会
尼崎市断酒会はなみずき屋例会 東大阪断酒会1日研修会
池田市断酒会1泊研修会/池田市断酒会創立40周年記念大会
東住吉断酒会田辺支部 堺市断酒連合会一日研修会 堺市
泉北断酒会 松原断酒会 兵庫アメシスト一日研修会 旭
断酒会 阿倍野断酒会

<AA>

AA 上本町 AA 長居 AA 鶴橋 AA 通天閣 AA 北野田
AA 関西コンベンション AA 豊中曽根 AA いずみグループ
AA 駒川中野

<酒害教室>

北区酒害教室 東住吉区酒害教室 鶴見区酒害教室 平野区酒害教室

<NA>

NA 鶴橋 NA 田辺

<医療機関>

小谷クリニック合同例会 新生会病院合同例会 はまゆう会
会 仲間の会運動会 阪和いずみ病院メッセージ 金岡中央病院メッセージ

<その他>

MAC 感謝の集い

風景写真コーナー



メンバーさんが撮影した写真です。癒しの一枚を (撮影: 日本雅貴)